

玉野高（玉野市築港）などの女子生徒でつくるチームが、手作りロケットの開発に挑戦している。小型でも火薬エンジン具备了本格的なモデルの完成を目指

しており、10月20日には、茨城県つくば市で開かれる大人も含めた全国大会（日本モデルロケット協会主催）に出場する。（岡本遥加）

ロケット作り挑戦

玉野高など女子中高生チーム

ロケット開発に取り組む中高生ら



玉野高は科学教育に力を入れており、同大会への出場を目指す女子中高生向けの応援プロジェクトに応募。10校の中から採択3校の一つに選ばれた。校内で参加者を募ると1〜3年の6人が手を挙

火薬エンジン備え本格的

試作したロケットの打ち上げ会 9日、玉野高



パラシュートを仕込んだ機体の滞空時間などを競う。出場チーム数は未定。

今年9日には、応援プロジェクトを企画した教育支援企業リバネス（東京）の瀬野亜希さん（33）が玉野高を来訪。生徒たちは1人1個ずつロケットを試作し、「部品の位置が少しでもずれると打ち上げられないことがあるの

で正確に」などとアドバイスを受けた。全長30センチほどのプラスチック製のロケットが上来ると、グラウンドで打ち上げた。玉野高2年井上風沙さん（17）は「ロケットをもっと軽くして、高く飛ばせるようにしたい」と話している。

玉野高2年井上風沙さん（17）は「ロケットをもっと軽くして、高く飛ばせるようにしたい」と話している。